

ID No.316		
研究課題名	脂肪組織の自然炎症におけるRP105/MD-1シグナルの解析	
研究代表者	長井 良憲 (富山大学・客員准教授)	
研究組織		
受入教員		三宅 健介 (東京大学医科学研究所)
研究分担者		
研究報告		
<p>野生型(WT)マウス、RP105欠損マウス及びMD-1欠損マウスに高脂肪食を摂餌させ、脂肪組織に浸潤する細胞数を比較したところ、WTマウスに比べてRP105欠損マウス、MD-1欠損マウスでは、顕著に細胞数が減少していた。特に炎症性M1マクロファージの数が著減していた。免疫組織染色による解析でも同様の結果を得た。また、WT、RP105またはMD-1欠損マウス由来マクロファージをTLR4の内因性リガンドであるパルミチン酸で刺激したところ、RP105またはMD-1欠損マクロファージはWTと同様の反応性を示した。したがってRP105/MD-1はTLR4とは異なる内因性リガンドを認識することが示唆された。以上の成果をまとめて、<i>Diabetes</i> 誌に発表した。</p> <p>RP105/MD-1の内因性リガンドの探索と脂肪組織炎症における可溶型MD-1の機能解析については、詳細な解析を継続中である。</p>		